

2021年9月期連結決算 および2022年9月期業績予想等

MRI 三菱総合研究所

2021年11月2日

1 2021年9月期決算

2 2022年9月期業績予想

3 トピックス

2021年9月期 連結決算のまとめ

- 基盤事業(官公庁、金融・カード)伸長で増収・増益(実力ベース)
- 官公庁はコロナ、先端ICTなど中計に沿った大型案件が寄与

売上高: 1,030億円 前期比 +110億円

- シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC): 官公庁がけん引、大幅増収(+57億)
- ITサービス(ITS): 金融・カード伸長で大幅増収(+52億)

経常利益: 75.6億円 前期比 Δ 8.1億円 実力+5億円

- 実力ベースでは+5億 (前期一時的要因(持分法投資利益計上) 約13億)
- 4Qに一過性経費が発生(Δ 3億)、公表予想比 Δ 2億

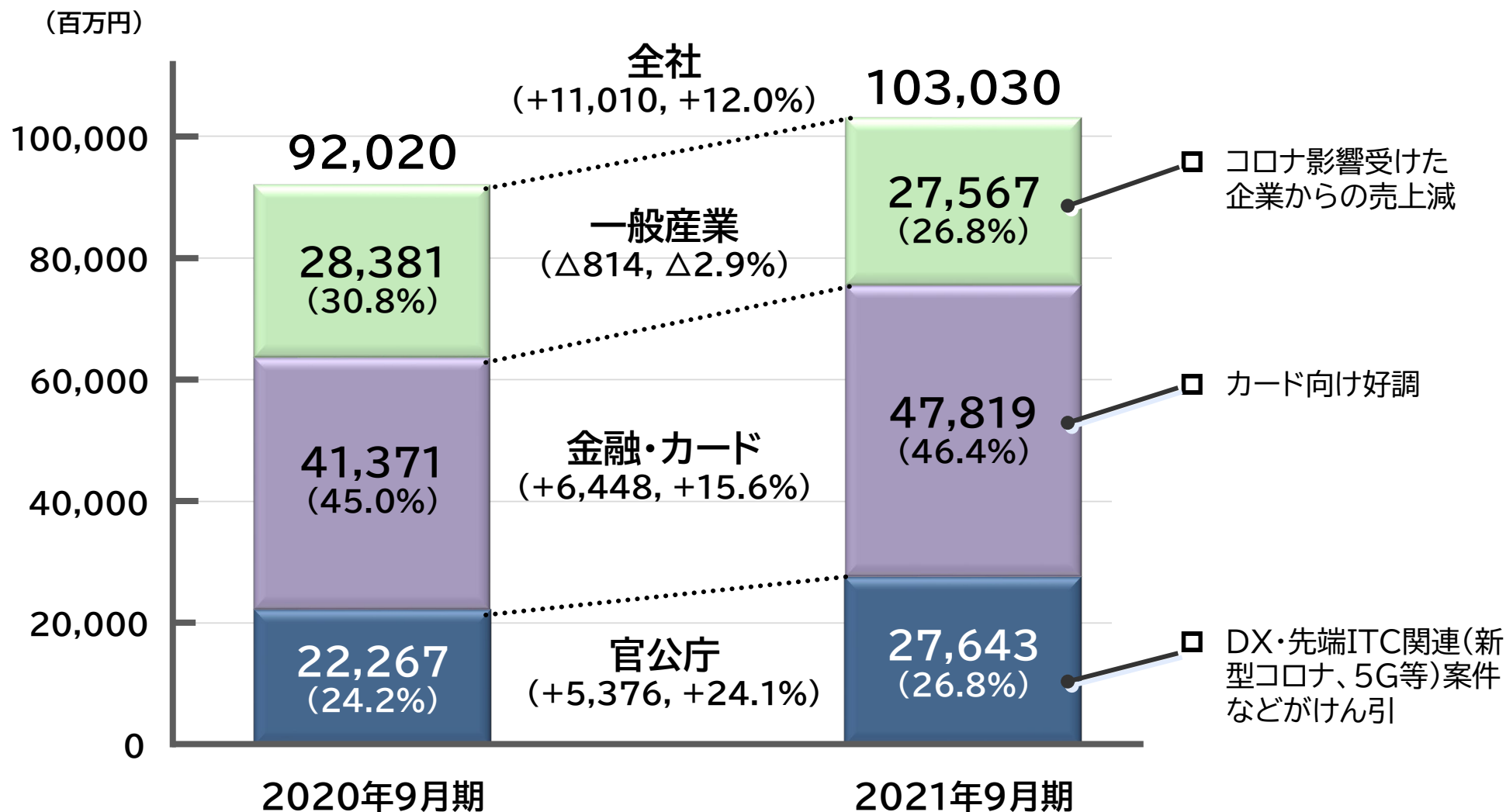
純利益: 50.0億円 前期比 Δ 20.8億円 実力+5億円

- 実力ベースでは+5億 (前期一時的要因(特別利益計上) 約27億)

2021年9月期 連結決算 <前期比>

	2020年 9月期	2021年 9月期	(百万円)			
			前期比		公表予想 21/8/2	公表 予想比
			増減額	増減率		
売上高	92,020	103,030	+11,010	+12.0%	103,000	+30
売上総利益	21,240	23,447	+2,207	+10.4%	—	—
売上総利益率	23.1%	22.8%	△0.3P		—	—
販売費及び一般管理費	15,008	16,593	+1,585	+10.6%	—	—
営業利益	6,231	6,853	+622	+10.0%	7,000	△146
営業利益率	6.8%	6.7%	△0.1P		6.8%	△0.1P
経常利益	8,387	7,568	△818	△9.8%	7,800	△231
親会社株主に帰属する当期純利益	7,096	5,009	△2,087	△29.4%	5,000	+9
1株当たり当期純利益(円)	436.64	308.60	△128.04	△29.3%	308.04	+0.56
ROE(自己資本利益率)	13.9%	9.1%	△4.8P		—	—

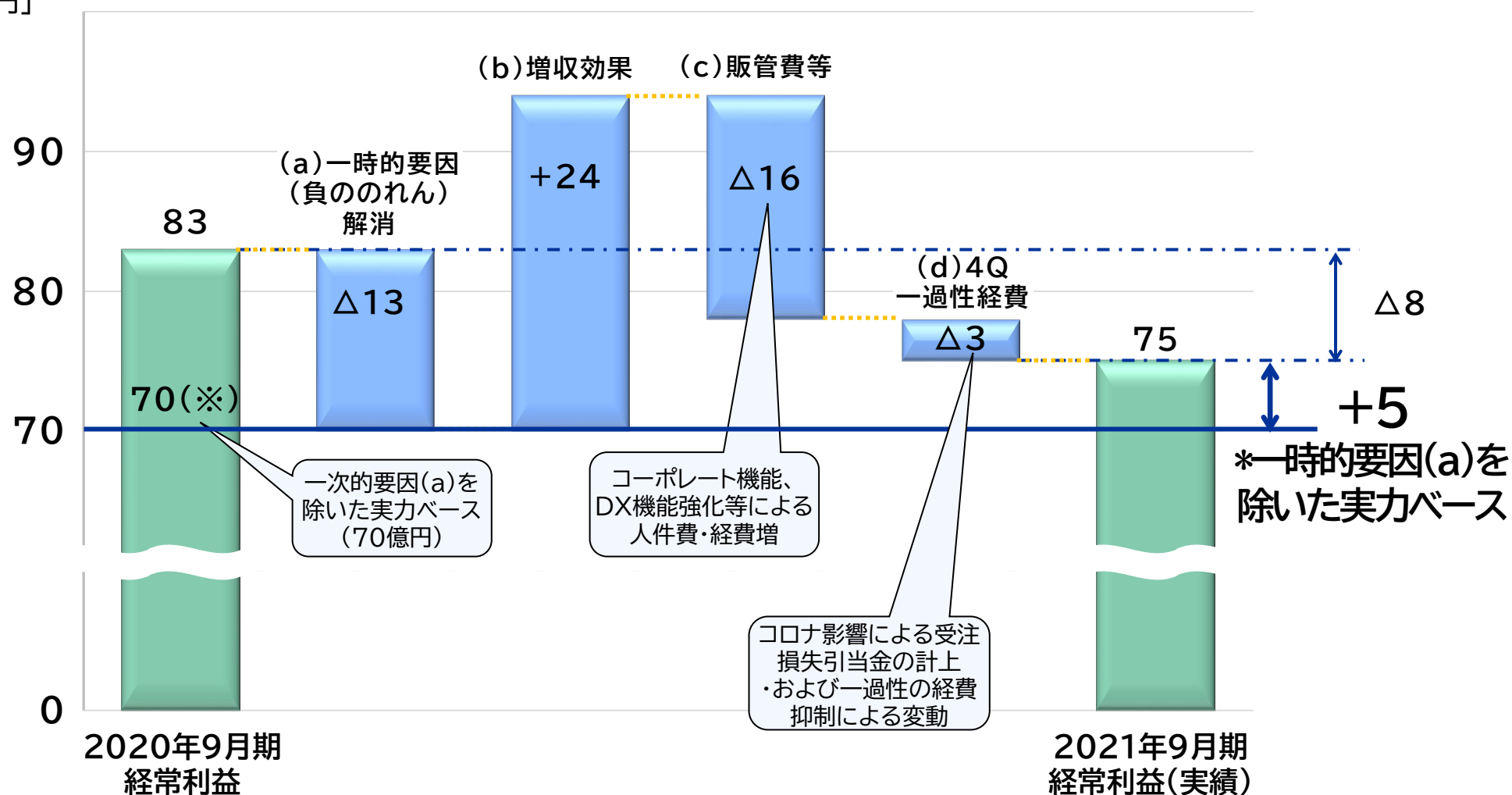
顧客業種別売上高 <前期比>



経常利益の変動要因 <前期比>

- 20/9期(実力)は、経常利益83億から一時的要因(a)を除いた70億(※)
- 21/9期(実力)は、増収効果(b)で販管費等(c)・一過性経費(d)を吸収し、5億増*

[億円]



シンクタンク・コンサルティングサービス(TTC)

(百万円)

	2020年9月期	2021年9月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	34,581	40,376	+5,795	+16.8%
営業利益	3,341	3,652	+311	+9.3%
営業利益率	9.7%	9.0%	△0.7P	
経常利益 (実力ベース)	5,283 (3,950)	4,197	△1,086 (+247)※	△20.6% (+6.3%)
受注高	36,369	50,943	+11,573	+29.4%
受注残高	31,095	41,661	+10,566	+34.0%

主なポイント

- 官公庁向け大型案件、金融向けコンサルにて増収
- 一過性経費(前ページ(d))を増収効果で打ち返し、実力ベースでは増益(+2.4億※)
- 受注高・受注残高は、官公庁案件(DX・先端ICT関連、新型コロナ、5G)がけん引、過去最高水準

ITサービス(ITS)

(百万円)

	2020年9月期	2021年9月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	57,438	62,653	+5,214	+9.1%
営業利益	2,878	3,191	+312	+10.9%
営業利益率	5.0%	5.1%	+0.1P	
経常利益	3,092	3,361	+269	+8.7%
受注高	59,501	67,536	+8,034	+13.5%
受注残高	42,436	47,319	+4,883	+11.5%

主なポイント

- 金融・カード分野の伸長により、増収・増益
- 営業利益は過去最高水準、DX等で先行投資を継続しつつ利益率維持
- 受注高・受注残高は、金融・カードがけん引、前期比大幅プラス

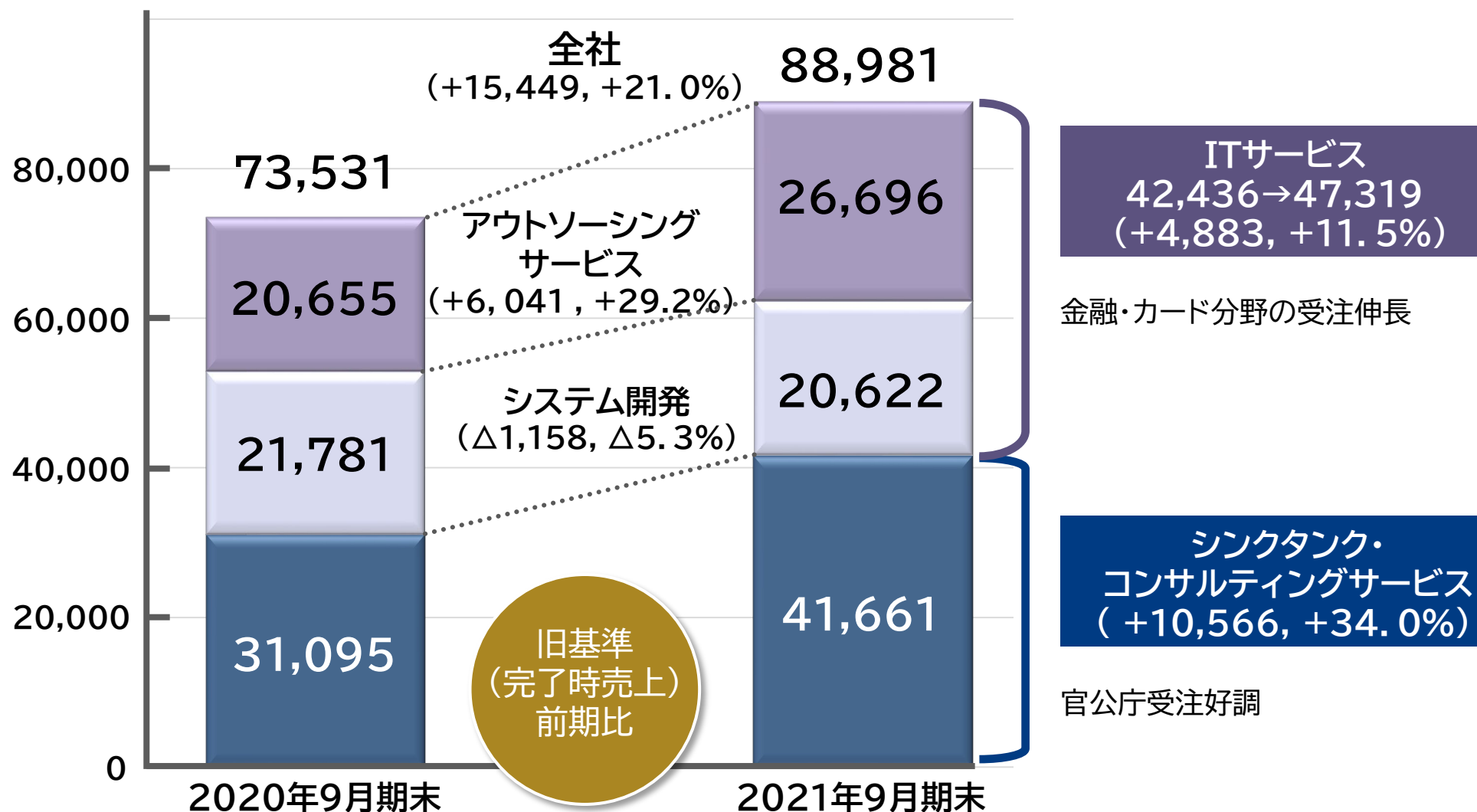
参考)セグメント別・顧客業種別売上高 <前期比>

(百万円)

		2020年9月期	2021年9月期	前期比	
				増減額	増減率
TTC	官公庁	21,746	27,065	+5,319	+24.5%
	金融・カード	3,384	4,110	+725	+21.4%
	一般産業	9,450	9,200	△249	△2.6%
	TTC 計	34,581	40,376	+5,795	+16.8%
ITS	官公庁	521	578	+57	+11.0%
	金融・カード	37,986	43,708	+5,722	+15.1%
	一般産業	18,931	18,366	△564	△3.0%
	ITS 計	57,438	62,653	+5,214	+9.1%

(参考)期末受注残高<前期比>

- 旧会計基準(完了時に売上)による前期比では、下図のとおり+21.0%
- (百万円) ■ 新会計基準(進捗に応じた売上)での受注残前期比も、+20%程度



- 1 2021年9月期決算
- 2 2022年9月期業績予想
- 3 トピックス

2022年9月期 連結業績予想

- 中計2023目標達成に向け、先行投資・回収の好循環で増収増益を継続
- TTCは増収増益基調維持(除くオフィス統合経費)、23年度から効果発現
- ITSは大型SI案件・一般民間DX等で利益率改善・増収増益

売上高予想: 1,130億円 前期比 +99.6億円(+9.7%)

- TTC :440億円 前期比 +36億円 官公庁受注堅調により増収
- ITS :690億円 前期比 +63億円 金融・カード、一般民間DXにより増収

経常利益予想: 82億円 前期比 +6.3億円(+8.3%)

- TTC :40億円 前期比 △2億円 (除くオフィス統合経費(4億)では+2億円)
- ITS :42億円 前期比 +8億円

当期純利益予想: 55億円 前期比 +4.9億円(+9.8%)

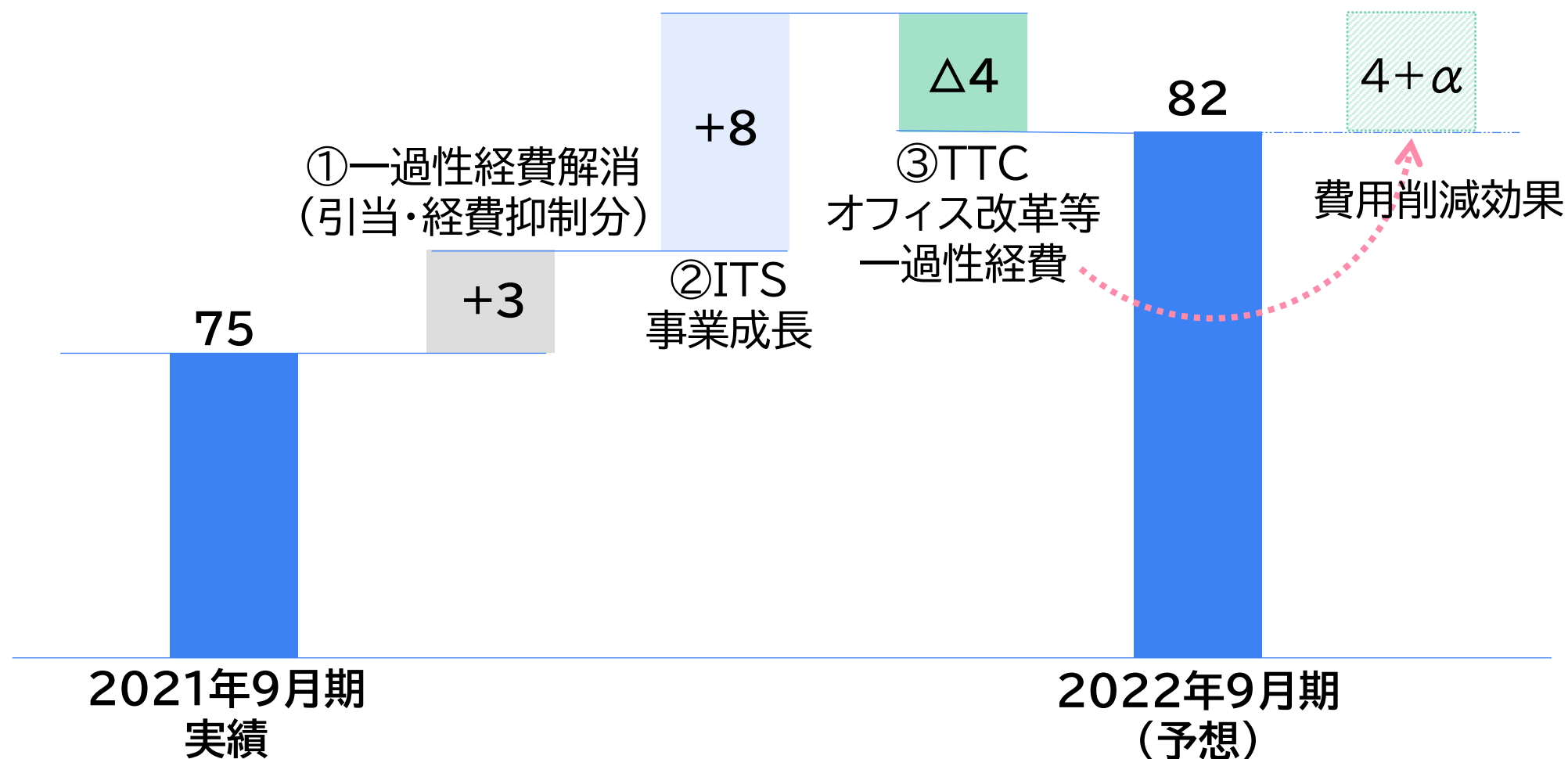
(注)現時点ではコロナ影響を見込んでおりません

中計2023を展望した経常利益成長イメージ

21/9期 経常利益

22/9期 経常利益

23/9期 以降



中計2023の進捗と成長戦略

(1) 基盤事業(官公庁/金融・カード)

総括 ✓ DX、先端ICT、新型コロナ、5G等、大型SI案件により大幅伸長

- 今期方針
- TTC：リサーチ・コンサル案件ポートフォリオ入れ替え、DXに結び付く案件伸長
ポストコロナに向けたオフィス改革・社内インフラ整備推進(→23年度経費削減)
 - ITS：カード案件・大型SI案件がけん引、粗利率向上・販管費抑制で利益率向上

(2) 成長事業(DX/ストック型/海外)

総括 ✓ グループ連携基盤強化、商材・サービス等の相互補完やクロスセル進展

- 今期方針
- TTC/ITS：行政・民間向けDX、ストック型ビジネス拡大、先行投資継続(研究・開発、提携)
 - ITS：製造業・金融向けDX(ビッグデータ活用)、サービス事業(教育機関)伸長

【投資】オフィス改革、社内DX基盤整備

【要員】DX人材強化のため、120名増員計画(TTC:45名、ITS:75名)

2022年9月期 連結業績予想

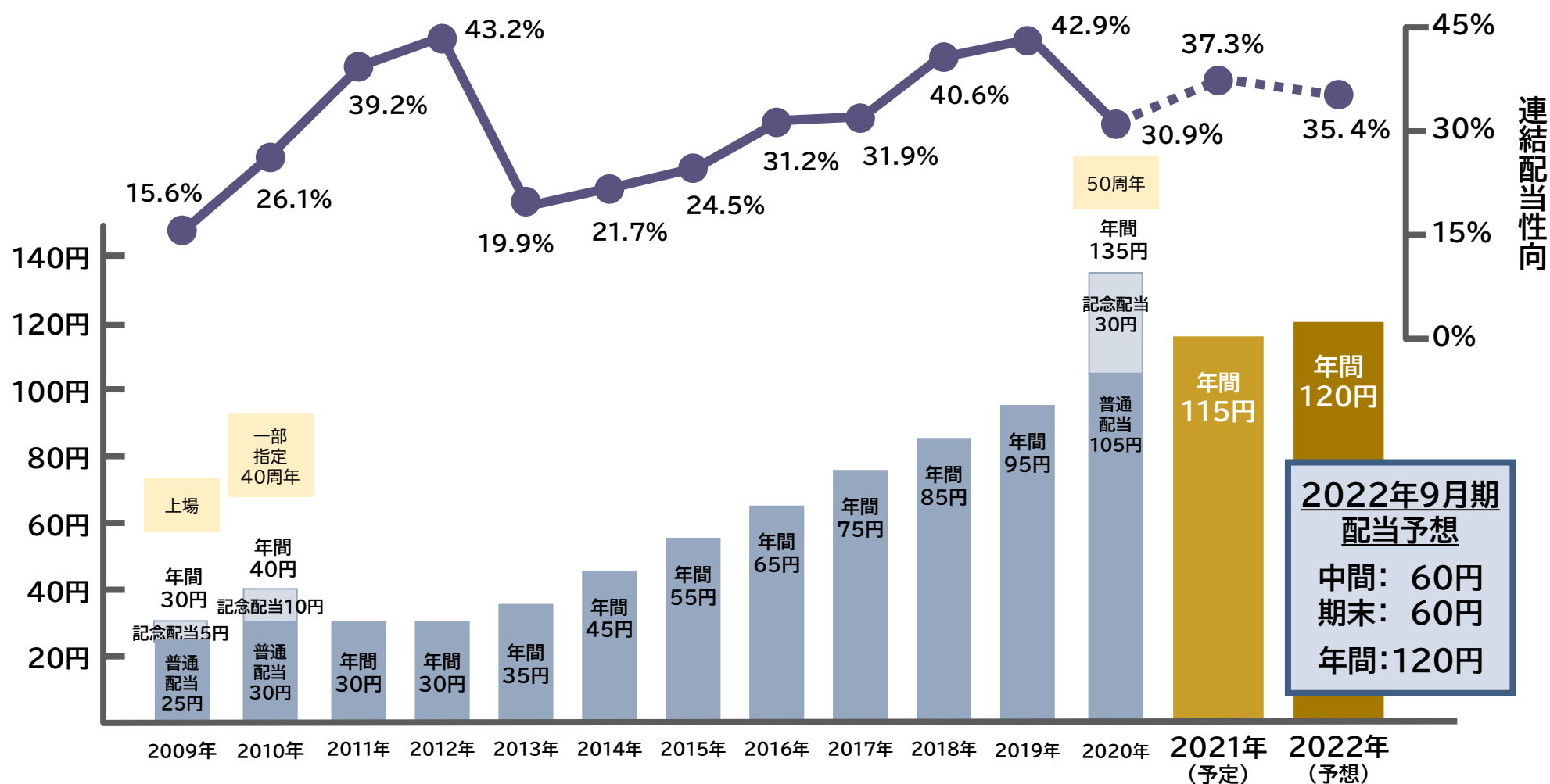
(百万円)

	2021年 9月期実績	2022年 9月期予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	103,030	113,000	+9,969	+9.7%
シンクタンク・コンサルティング サービス	40,376	44,000	+3,623	+9.0%
ITサービス	62,653	69,000	+6,346	+10.1%
営業利益	6,853	7,200	+346	+5.1%
営業利益率	6.7%	6.4%	△0.3P	
経常利益	7,568	8,200	+631	+8.3%
シンクタンク・コンサルティング サービス	4,197	4,000	△197	△4.7%
ITサービス	3,361	4,200	+838	+24.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,009	5,500	+490	+9.8%
1株当たり当期純利益(円)	308.60	339.26	+30.66	

2022年9月期 配当予想

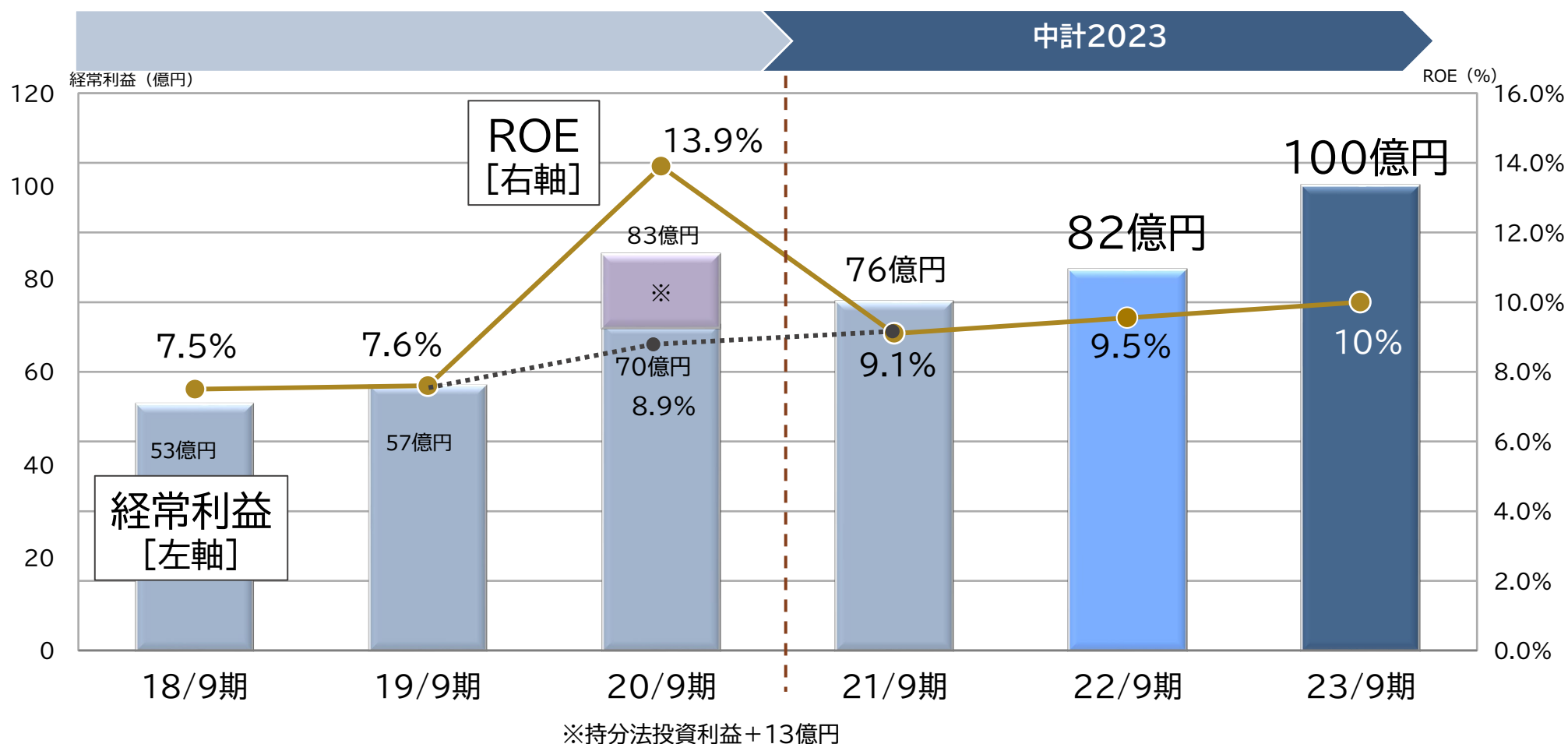
配当方針

継続的な安定配当を基本に、業績や財務健全性のバランス等も総合的に勘案しつつ、配当水準の引き上げに努める



中計2023 財務目標

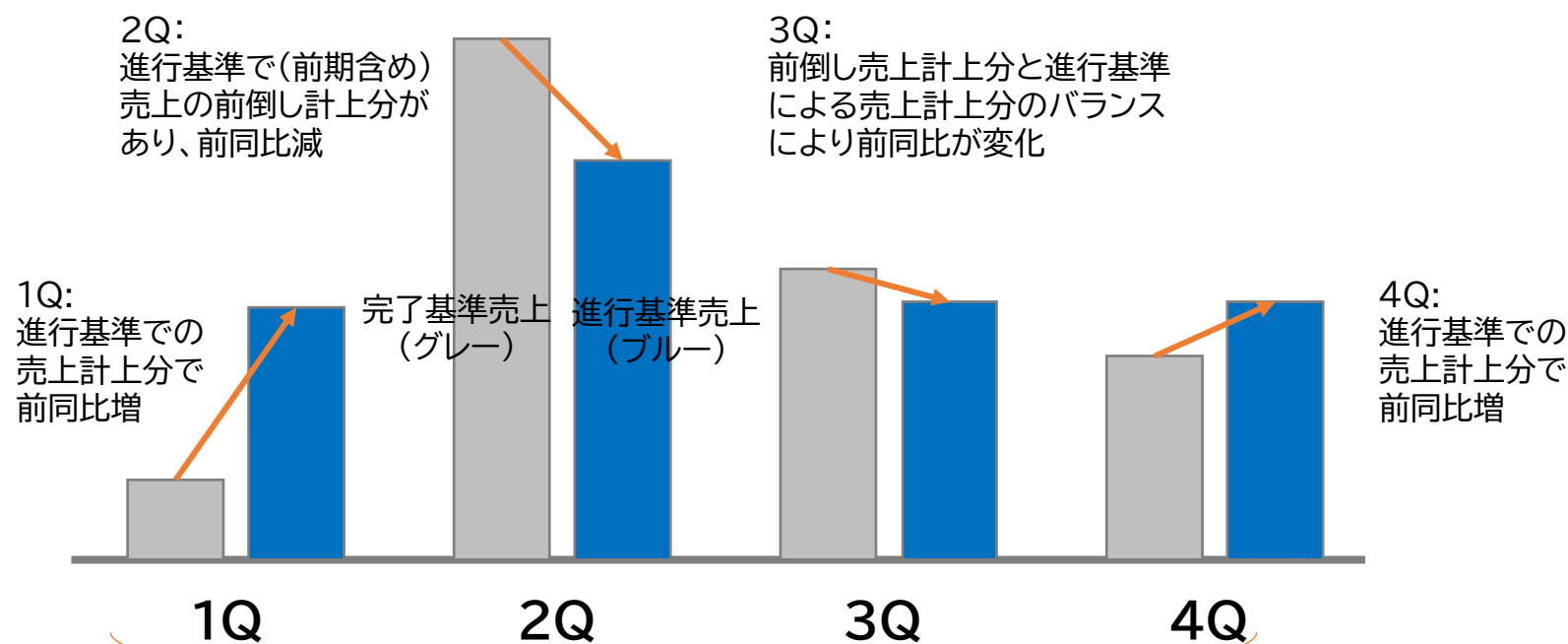
- 2023年9月期目標： 経常利益 100億円
ROE 10%
年平均成長率 12%（経常利益:20年一時的要因除く）



(参考)会計基準適用による表面上の四半期別影響イメージ

- 通期業績への影響なし、四半期の季節変動軽減見込み(下図)
- 2022年9月期期首より、「収益認識に関する会計基準」適用
- 案件売上計上が、「完了」時から「一定期間にわたり進捗に応じて(進行基準)」に変更

【22/9期 各Q売上イメージ】



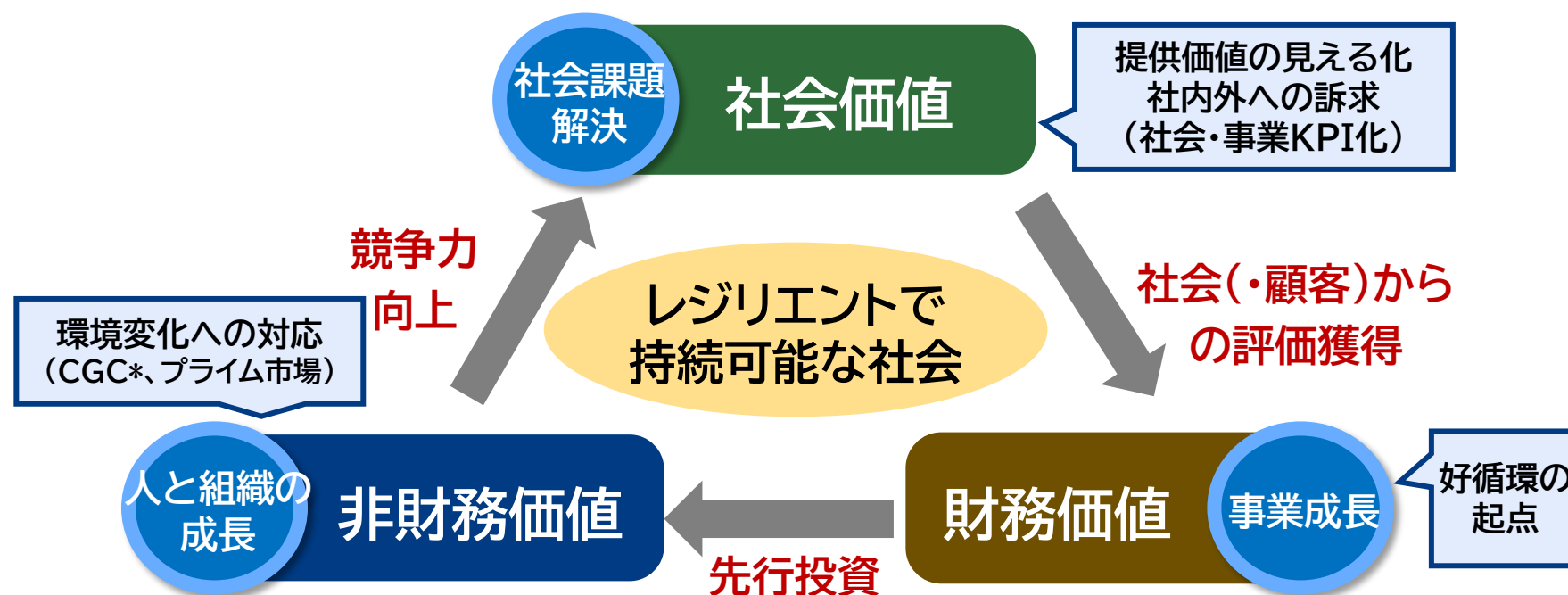
通期でみると基準変更による売上影響はほぼない見込み

注)あくまで「収益認識に関する会計基準」適用の影響をイメージとして示したものであり、当期各四半期の売上高の増減を正式に予想したものではありません。

- 1 2021年9月期決算
- 2 2022年9月期業績予想
- 3 トピックス

(参考)中計2023 非財務・社会価値目標

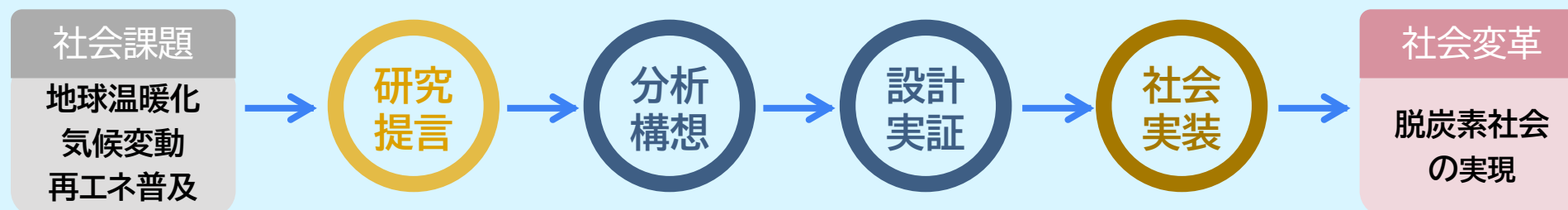
- ◆ 非財務価値：指標拡充、環境変化ふまえた対応強化
 - DX人財拡充・ダイバーシティ・オフィス改革等の進捗
 - TCFD賛同をふまえた環境面の対応強化
- ◆ 社会価値：中長期目標・KPIを明確化



*コーポレートガバナンスコード

(参考)VCP経営の進展

◆ 環境・エネルギー分野のVCPの例



2050年に向けたエネルギービジョンを研究し、出版・提言しました。



環境・エネルギー関連の継続的情報発信を公式サイトで行っています。



受託プロジェクト例

- 洋上風力関連調査
- 脱炭素時代の資源事業戦略 (大手民間企業)
- 省エネルギー国際標準開発
- 温室効果ガス排出量算定関連調査

(官公庁)



当社グループの主体的活動

- ◆ [Zエナジー設立に参画](#)
- ◆ [TCFD賛同表明](#)
- ◆ [英BVG Associatesと連携強化](#)
- ◆ [エクセルギー・パワー・システムズに追加出資](#)
- ◆ [卸電力取引予測サービス \(MPX\)](#) など

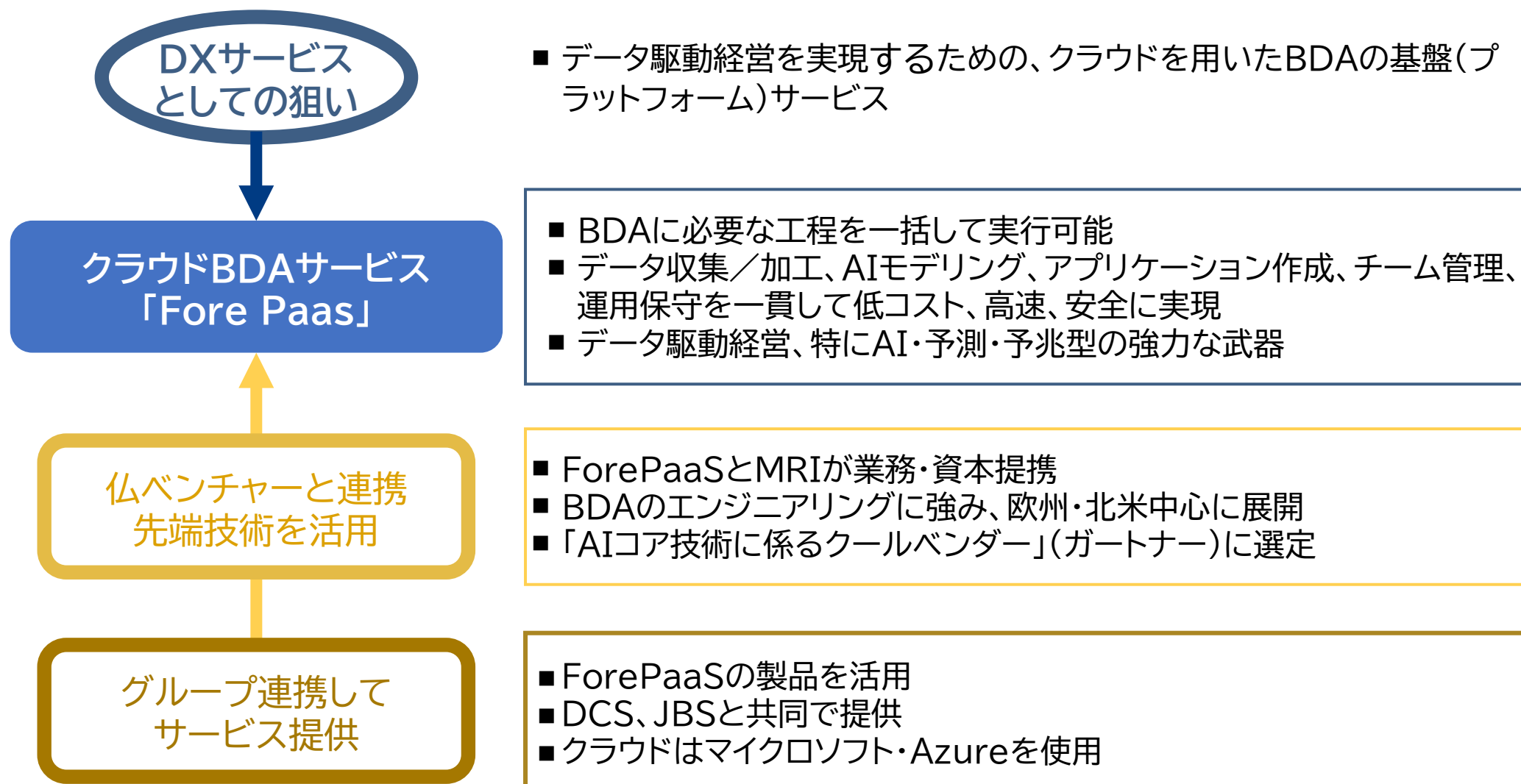
(参考)VCP経営の進展

◆ ヘルスケア分野のVCPの例



(参考)連結経営の進展

◆ MRI・DCS連携によるビッグデータ解析(BDA)の例



トピックス:最近のリリース

日付		タイトル
【MRI】		
2021.10.29	DX	<u>2030年代のCX(コミュニケーショントランスフォーメーション)に関する研究成果を発表</u>
2021.9.30	ESG	<u>日本発の提案、“ドローン用の地理空間情報に関する国際規格”が発行</u>
2021.9.27	ESG	<u>気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言への賛同を表明</u>
2021.9.1	ESG	<u>再生可能エネルギーファンド創設に向け、新会社「Zエナジー」設立に参画</u>
2021.8.31	ICT	<u>医療機関向けクラウドサービス対応セキュリティリファレンス公開</u>
2021.8.30	ESG	<u>農業経営の円滑承継実現に向けた共同研究の連携協定を締結</u>
2021.8.26	DX	<u>住民相談業務のDX「AI相談パートナー」に向けてアイネスと共に豊田市との共同研究を開始</u>
2021.8.18	DX	<u>「醸造匠AI」に「レシピ探索機能」を追加・試験運用開始 新商品開発業務の効率化・高度化を実現</u>

トピックス:最近のリリース

日付		タイトル
【DCS】		
2021.9.27	 DX	クラウド型人事給与システム「PROSRV on Cloud」 デジタル庁提供のマイナポータルAPIに対応開始
2021.9.13	 DX	OutSystemsジャパンとパートナー契約を締結 ～アジャイル開発・ローコード開発の導入支援を開始～
2021.9.6	 ESG	介護向けコミュニケーションロボットサービス 「Link&Robo for ウェルネス」の提供を開始
2021.8.17	 ESG	小中学校向け「ロボットプログラミング入門」出張特別授業を開始

将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。

- 本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 三菱総合研究所

経営企画部 IR室

E-mail : ir-info@ml.mri.co.jp

URL : www.mri.co.jp/

未来を問い続け、変革を先駆ける

MRI 三菱総合研究所